

[重点事項評価]

重点事項 1	課題解決に向けた資料の充実と利便性の向上を図る
--------	-------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

- ①幅広い分野の最新情報を提供できる資料収集を行う。
- ②「村上市子ども読書活動推進計画」に基づき、全館で児童書の充実を図る。

《事業実績》

- ①平成31年度上半期において2,494冊(一般書1,641冊、児童書853冊)の図書を購入した。  
(H30年度上半期:2,497冊(一般書1,663冊、児童書834冊))
- ②平成31年度上半期において、853冊の児童書を購入し、中央図書館647冊、朝日図書館51冊、荒川図書室57冊、神林図書室49冊、山北図書室49冊を配置した。  
(H30年度上半期:834冊(中央452冊、朝日109冊、荒川102冊、神林85冊、山北86冊))

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	前年度との比較で地区館経費が削減されているものの、各分類に偏りがないうように単価を調整しながら収集している。
②	B	前年度との比較で全体冊数は同等であるが、地区館経費が削減されているため各地区館での減少が目立つ。

[重点事項評価]

重点事項 2

地域資料、行政資料の収集、保存、活用に努める

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

①地域資料、行政資料の収集整備を行う。

《事業実績》

① 地域資料、行政資料については、新潟県及び村上市岩船郡に関する資料80冊を受け入れた。(H30年度上半期：75冊受け入れ。)

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	昨年度との比較で増となり、寄贈のほか出版された資料は、ほぼ所蔵とした。

[重点事項評価]

重点事項 3	図書館ネットワークを活用して、利便性の向上を図る
--------	--------------------------

- 重点事項達成に係る事業 : 図書館ネットワーク等事業  
移動図書館サービス事業

《事業概要》

- ①ネットワークシステムにより一体的な書誌情報、利用者情報管理を行う。
- ②インターネットサービスにより利用者の利便性の向上を図る。
- ③団体貸出、相互貸借により所蔵資料の活用と利用者の利便性を図る。
- ④村上市岩船郡内を定期巡回して貸出サービスを提供する。

《事業実績》

- ① 月例で館内整理日を利用してシステム管理委託業者と協議を行い、システムメンテナンスを実施している。
- ② 中央図書館内にインターネット開放端末(3台)を設置しており、上半期は1,091回の利用があった。(H30上半期:1,117回)
- ③ 団体貸出については、平成31年度上半期で391件、5,475冊の貸出を行った。1年間の長期貸出は、小学校2校に各200冊ずつ貸出を行い、定期貸出は、9団体に毎月30冊ずつ、4団体には毎月20冊ずつの貸出を行った。
- ④ 118箇所のステーションを巡回し、利用者813人、貸出冊数3,052冊の利用があった。(H30上半期:利用者1,318人、貸出冊数4,837冊)

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	新システムに移行し1年が経過しようとしている。大きな支障もなく安定した稼働となっている。
②	A	前年度から引き続き安定した利用が見込まれる。インターネットを活用した蔵書検索や予約等の役割も担っている。
③	B	団体貸出について、前年比で減となっている理由として、予算削減により定期利用団体(施設)への宅配料が減額となったことにより、定期貸出を中止する団体の実績減少があったため。
④	C	予算削減による巡回数の減少により、前年度比の利用減少は目立っているものの、移動手段を持たない市民サービスとしての役割は担っている。

[重点事項評価]

重点事項 4	積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、 利用の拡大を図る
--------	-------------------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館サービス事業

《事業概要》

- ①子ども読書活動推進計画関連事業の実施により、読書活動の推進を図る。
- ②対象別サービスの提供や学校との連携を図り、読書活動の推進を図る。
- ③企画展示等により情報提供を行い、利用の拡大を図る。
- ④図書案内（レファレンス）サービスの提供により、利用者の利便性の向上を図る。

《事業実績》

子育て支援として、各地区子育て支援センターへの図書の貸出や、山辺里・朝日子育て支援センターで読み聞かせを定期的実施。また、子育て支援センター利用者へ個人貸出を行った。

定期的な児童・生徒向けブックリストの発行や、学校訪問によるブックトークを実施し、読書推進を図った。

4月に子ども読書の日イベントをボランティア団体の協力を得て、読み聞かせや、図書館蔵書資料を利用した子ども向け工作教室等を実施した。

8月に学校図書館運営相談会を実施し、学校図書担当教諭、学校図書館司書との意見交換により市立図書館の利用促進、子どもへの読書推進を協力して進められるよう図ることができた。

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	子ども読書活動に関する企画・イベントによる啓発を行った。また山辺里・朝日子育て支援センターの出張訪問を継続して行った。
②	A	学校図書館運営相談会により学校図書館担当者との連携につながった。学校訪問により読書に対する子どもの関心を高めることができた。
③	A	趣向を凝らした様々な館内展示や、興味がわき、手に取って読みたくなる図書の展示コーナーを設けるなど、利用の拡大につながっている。
④	A	レファレンス件数が倍増しており、利用者の調査、研究に役立てられている。

[重点事項評価]

重点事項 5	様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る
--------	----------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 職員研修等

《事業概要》

①様々な研究機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

《事業実績》

①平成31年度上半期は次の研修会に職員を派遣した

(外部研修)

- ・令和元年度新潟県公共図書館児童部門研究集会(2名) 6月26日
- ・令和元年度新潟県公共図書館中堅職員研修会(1名) 9月20日

(職場内研修)

- ・各地区図書室の図書館担当者端末操作研修会 随時
- ・その他読み聞かせ研修 随時

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	各分野の研修へ職員を派遣することでスキルアップにつながっている。